

2010年度  
(平成22年度)

# 事業報告書



公益社団法人  
日本ユネスコ協会連盟

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-3-1 朝日生命恵比寿ビル12階  
TEL:03-5424-1121(代) FAX:03-5424-1126  
<http://www.unesco.or.jp> E-mail:[nfuaj@unesco.or.jp](mailto:nfuaj@unesco.or.jp)

---

---

## 目次

I	2010年度事業報告	1
	1 「平和の文化」実践活動	1
	2 ユネスコ世界寺子屋運動	7
	3 世界遺産・地域遺産活動	9
	4 事業資金の拡大・充実	11
II	組織	12
III	会議	16

## 1. 「平和の文化」実践活動

国内では、民間ユネスコ運動の日を中心に、「平和の鐘を鳴らそう」の全国統一運動を行った他、全国大会、ブロック研究会、ユースセミナー等を通じてユネスコ活動についての活発な意見交換を行った。中でも、ユネスコスクールの増加に伴い、地域におけるユネスコ協会とユネスコスクールの連携のあり方について様々な実践例が報告された。併せて、文部科学省の日本/ユネスコ・パートナーシップ事業によるユネスコスクール研修会を開催した。

世界との連携では、UNESCO のボコバ事務局長の協力要請に応え、ハイチ教育支援のための募金活動を行った。また、2010年9月に奈良市で開催された第65回日本ユネスコ運動全国大会と同時期に、アジア太平洋ユネスコ協会クラブ連盟(AFUCA)の会長国としてAFUCA 執行委員会を開催し、併せてUNESCO (パリ本部) との共催でアジア太平洋地域の民間ユネスコ運動のリーダー研修セミナーを開催した。

2010年9月に公益社団法人への移行申請を行い、公益認定に伴う定款等の改訂の必要性から1月には臨時総会を開催し、万端の準備を整えた。その結果、2011年3月18日をもって内閣総理大臣より公益社団法人の認定を受けることができた。平行して、ユネスコ運動に青年の意見を反映させるため、全国の青年会員を会員とする全国的青年連絡組織が結成され、運動の活性化に寄与する体制を整えた。

さらに、2011年3月11日に起こった未曾有の東日本大震災以降は、震災後の教育復興を支援するために「東日本大震災子ども支援募金」を開始し、UNESCO (パリ本部) の協力も得ながら、短期・中期・長期に渡る支援活動を開始した。

### (1) 普及実践活動

#### ① 第66回日本ユネスコ運動全国大会 in 奈良

期間 2010年9月25日(土)～26日(日)

場所 なら100年会館

主催 日本ユネスコ協会連盟、奈良県ユネスコ連絡協議会、奈良ユネスコ協会

後援 外務省、文部科学省、日本ユネスコ国内委員会、国際連合広報センター、奈良県、奈良市

内容 全国のユネスコ会員が集い、交流し、民間ユネスコ運動への研鑽を積むために毎年実施。今大会は「和をもって貴しとなす ～日本の伝統と文化を未来へ～」をテーマに基調講演や「わ」を表現した青年企画プログラムを通じて、平和の文化を考え、平和な世界をつくる活動へ会員が協力していくことが確認された。

#### ② ブロック別ユネスコ活動研究会

民間ユネスコ活動振興のため、ユネスコ協会の会員を対象とした研究会を以下の通り実施した。

四国ブロック・ユネスコ活動研究会 (香川県高松市) 2010年6月26～27日

近畿ブロック・ユネスコ活動研究会 (奈良県生駒郡斑鳩町) 2010年7月10～11日

中部東ブロック・ユネスコ活動研究会 (長野県上田市) 2010年9月4～5日

関東ブロック・ユネスコ活動研究会 (東京都渋谷区) 2010年9月4～5日

中国ブロック・ユネスコ活動研究会 (鳥取県倉吉市) 2010年9月18～19日  
北海道ブロック・ユネスコ活動研究会 (北海道斜里町) 2010年10月16～17日  
東北ブロック・ユネスコ活動研究会 (福島県須賀川市) 2010年10月30～31日  
中部西ブロック・ユネスコ活動研究会 (愛知県豊橋市) 2010年11月6～7日  
九州ブロック・ユネスコ活動研究会 (熊本県熊本市) 2010年11月20～21日

### ③ 民間ユネスコ運動の日 ～夏のキャンペーン～

#### A) 民間ユネスコ運動の日「一斉行動日」

日本発祥のユネスコ運動の存在をアピールするため、「民間ユネスコ運動の日」(7月19日)を含む7月18～20日を中心に全国一斉活動日とし、7月1日～8月30日を「子どもたちの未来のために、今できることから」をテーマに夏のキャンペーンを行い、全国82のユネスコ協会がさまざまな活動を展開した。

#### B) 「平和の鐘(かね・おと)を鳴らそう!」キャンペーン

「世界の子どもたちのための平和の文化と非暴力の国際10年(2001～2010年)」の象徴的事業として2010年7～8月を中心に実施。全国各地の寺院・教会の鐘をならし、子どもたちが平和について改めて考えるきっかけを作った。

#### C) 「平和の鳥 de 募金」

青年を中心とする平和運動の広がりを促すこと、また世代をまたぐユネスコ活動のきっかけとなることを目指し、全国各地で募金活動を実施した。

### ④ 公益社団法人の認可申請及び体制の整備

2010年9月6日に新公益法人への移行を内閣府の公益認定等委員会へ申請。2011年3月18日に内閣総理大臣から認定を受け、4月1日をもって公益社団法人日本ユネスコ協会連盟協会連盟の設立登記を完了し、新たな組織としてスタートした。

## (2) 青少年活動

### ① 青年活動の振興

#### A) 青年代表評議員・理事

2010年9月25日、「全国的青年連絡組織」の設立総会が奈良で行われた。青年の青年による青年のための新しいユネスコ運動推進組織が始動した。

#### B) 次世代育成

全国の青年活動の振興を支援し、青年リーダーの育成をはかった。

#### C) ユネスコ・ユースセミナー

2011年1月7～10日、愛知県名古屋青少年宿泊センターにおいて、ユネスコ協会の青年約120名が参加。テーマは「知る感動 ～心にドーン～」参加した青年からはユネスコ運動へ取り組む意欲が表れていた。

#### D) スタディツアー

ア) 内閣府が行う平成22年度内閣府青年国際交流事業に青年の会員2名を推薦した。

イ) 2010年夏、韓国ユネスコ国内委員会の主催で、韓国済州島など数ヶ所で開催された Youth in Community Action へ青年の会員2名を派遣した。

- ウ) 2010年8月5～11日、教員スタディツアーをカンボジア・シエムリアップで実施し、ユネスコ寺子屋プロジェクト参加校の教員を寺子屋運動の現場に派遣し、国際理解・協力への理解を促進した。
- エ) 高校生スタディツアー  
東日本大震災により本事業は中止した。

E) 第42回ユネスコ子どもキャンプ

主催 日本ユネスコ協会連盟、千葉県ユネスコ協会連絡協議会

2010年7月31～8月3日、千葉県南房総市大房岬少年自然公園内キャンプ場で小学4年生～中学3年生84名と青年スタッフ63名参加のもとで実施。集団生活と経験を通じて海、自然、ユネスコへの理解を深めた。

② 「守ろう地球のたからもの」(通年)

「国連・持続可能な開発のための教育の10年 (UNDESD)」に基づき、全国の児童・生徒を対象に、三菱UFJフィナンシャル・グループ及び三菱UFJ環境財団の協力のもと以下の事業を行った。

A) ESD教材の制作・寄贈

2作目「守ろう地球のたからもの～豊かな世界遺産編」が完成。授業での実践を希望する学校へ寄贈を開始した。

B) 青森県の白神山地周辺の国有林伐採跡地に2万本を植樹した。

C) 第35回「みどりの絵」コンクールを三菱UFJ環境財団との共催で実施した。

25,203点の応募作品の中から、最優秀賞9作品、優秀賞36作品、入選388作品が選ばれた。

③ ユネスコスクールの普及活動

A) 研修会

文部科学省の日本／ユネスコ・パートナーシップ事業の委託を受け、ユネスコスクールの普及を促進するために、教員を対象にした県単位のユネスコスクール研修会を当該県の県教育委員会およびユネスコ連絡協議会と共催で実施した。開催日程は以下の通り。また、本研修会にあわせて研修用テキストを作成し、配布した。また、ブロック研究会においても、ユネスコスクールの普及・促進をテーマに情報交換、経験交流をはかった。

(参加者)

2010年8月9日	ユネスコスクール研修会 in 東京	87名
2010年8月20日	ユネスコスクール研修会 in 福井	261名
2010年11月27日	ユネスコスクール研修会 in 秋田	70名
2010年12月10日	ユネスコスクール研修会 in 静岡	166名
2011年1月6日	ユネスコスクール研修会 in 島根	339名
2011年1月26日	ユネスコスクール研修会 in 愛媛	87名

B) ユネスコ教育ネット

小・中・高校学校の児童・生徒が「ユネスコ世界寺子屋運動」について学び、コンピューターを使用して、運動を支援するためのリーフレットを制作する「ユネスコ寺子屋プロジェクト」には42校が参加した。リーフレットコンテストの結果、「日本ユネスコ協会連盟賞」には大阪市立扇町総合高等学校の生徒による作品が

選ばれ、2011年度の書きそんじハガキキャンペーン用リーフレットの素案として採用された。8月には参加校の教員を対象としたスタディツアーを実施した。また、環境教材「守ろう地球のたからもの」の活用、未来遺産運動の一環としての「私のまちのたからものコンテスト」（スライドショー）も実施した。「総合学習」の時間を中心に学校でのユネスコ学習を多様化し、未来を拓く子どもたちの成長に資する持続発展教育（ESD）を支援した。

C) 組織活動委員会ユネスコスクール部会

2010年5月と7月に部会を開催し、学校におけるユネスコ活動の振興について検討した。

D) 教員研修会

2010年5月22～23日、東京恵比寿のスバルビル会議室にて、教員や関係者約70名が参加し、ユネスコ寺子屋プロジェクト、私のまちのたからものコンテスト、「守ろう地球のたからもの」教材などの研修会を行った。

### (3) 組織の拡大とユネスコ活動の充実

#### ① ユネスコ活動の振興と助成

A) 地域ユネスコ活動一層の振興をはかるため、ユネスコ協会が企画する青少年事業を中心としたユネスコ活動67件の地域ユネスコ活動助成を決定した。

B) ユネスコ協会活動振興のための顕彰を第61回通常総会で行った。

C) 「構成団体会員に関する規定」に基づき、都道府県内単位ユネスコ協会の活動振興のため都道府県連絡協議会に助成金を交付した。

D) ユネスコ協会設立の勧誘と支援

新たに以下のユネスコ協会が設立された。

武蔵野ユネスコ協会 第474回理事会（2011年1月22日）承認

堺ユネスコ協会 第474回理事会（2011年1月22日）承認

諏訪ユネスコ協会 第475回持ち回り理事会（2011年3月28日）承認

E) ユネスコ協会便を年12回発送した。

F) ユネスコ協会が行う「絵で伝えよう！わたしの町のたからもの」絵画展に日本ユネスコ協会連盟会長賞を授与した。

#### ② ユネスコ運動推進員研修

ユネスコ協会の次代を担う会員を対象に、運動を市民に伝え、広めていくことのできる人材を育成する目的で開始したユネスコ運動推進員の継続研修を行った。

#### (4) 普及広報活動

##### ① 広報活動

認知度の向上や募金拡大をめざして以下の広報活動を行った。

- A) 機関誌「ユネスコ」の発行（奇数月1日、年間6回発行）  
民間ユネスコ運動の普及広報のため機関誌「ユネスコ」を以下の通り発行した。  
機関誌「ユネスコ2010年5月号 vol.1127」2010年5月1日発行  
機関誌「ユネスコ2010年7月号 vol.1128」2010年7月1日発行  
機関誌「ユネスコ2010年9月号 vol.1129」2010年9月1日発行  
機関誌「ユネスコ2010年11月号 vol.1130」2010年11月1日発行  
機関誌「ユネスコ2011年1月号 vol.1131」2011年1月1日発行  
機関誌「ユネスコ2011年3月号 vol.1132」2011年3月1日発行
- B) 「日本ユネスコ協会連盟総合パンフレット」を日ユ協連のユネスコ協会のリスト等を含め、最新情報に沿って一部改定し発行した。
- C) 新聞雑誌、広告、動画配信などを積極的に活用し民間ユネスコ運動を広報した。
- D) 当協会連盟の活動を紹介するパンフレットをはじめ、ポスター等を必要に応じて制作し、配布した。
- E) 2010年9月7日に東京ドームで行われた第81回都市対抗野球大会で優勝した東芝(神奈川県川崎市代表)に対して日本ユネスコ協会連盟会長賞を贈呈した。

##### ② WEB 広報活動

- A) 日ユ協連ホームページの内容充実をはかった。
- B) 民間ユネスコ運動の普及広報のためユネスコ情報メールマガジンを通巻133号～154号まで計21回発行した。
- C) ホームページや携帯サイトからの募金を増加するために一部改定した。

##### ③ 日ユ協連との共催・後援事業に対する申入れへの協力

当協会連盟の運動方針に鑑み、共催・後援事業に相応しいと考えられる企業の社会貢献的事業などに協力した。

##### ④ 募金の促進および広報活動

- A) 募金広報のための印刷物制作と配布  
財政基盤を強化するために、募金や寄付に関する情報を分かりやすく伝えるパンフレット等を制作した。自動引落とし募金者の増大を図り、募金システムの改善とクレジット決済による定額募金の増加をめざした。
- B) 書きそんじハガキ回収キャンペーン  
年末年始を中心に各地ユネスコ協会と共催で書きそんじハガキの回収キャンペーンを実施。広報ツールをユネスコ協会や協力者の要望に応じて配布し、130のユネスコ協会がキャンペーンに参加した。
- C) みなさまからの募金による活動レポート2010  
「ユネスコ世界寺子屋運動」、「世界遺産活動」、「一杯のスプーン」、「子ども募金」を通じた協力内容を国ごとにまとめたフルカラーの報告書（全23ページ）を2010年5月に発行し、協力者に配布・送付した。

- D) 新規ビデオ、パネルの制作
- ・世界寺子屋運動ラオス事業を紹介した DVD を制作し、協力者に配付した。
  - ・電通グループと日本サッカー協会の協力を得て、世界寺子屋運動に関する一般向けのパネルを作成。2010年7～8月「世界中の子どもたちにサッカーボールを届けるプロジェクト」の成果を伝えるイベント並びに、2011年2月8～10日に電通本社で開催された「古本市」で展示した。
- E) NHK「日本賞・日本ユネスコ協会連盟賞」の授与
- 2010年10月27日に開催された日本賞授与式（NHK主催）で、途上国の識字教育を促進する優れた番組企画に選ばれたバングラデシュのドゥルーパッド・コミュニケーション教育発達メディア企画の「教育－社会の光」が選ばれ、「日本ユネスコ協会連盟賞」を授与した。

## (5) 海外との連携

### ① アジア太平洋ユネスコ協会クラブ連盟（AFUCA）の活動の振興

- A) AFUCA 会長国として域内ユネスコ協会・クラブ活動の振興に協力した。
- B) 2010年9月25～27日、AFUCA 執行委員会とアジア・太平洋ユネスコクラブセミナーを全国大会（奈良）に合わせて開催し、アジア13ヶ国から55名が出席した。

### ② 世界ユネスコ協会クラブ連盟（WFUCA）への協力（通年）

2010年8月14～17日中国・北京で開催された世界連盟執行委員会に日ユ協連代表者を派遣した。

### ③ 三菱アジア子供絵日記フェスタの共催（通年）

主催：三菱広報委員会、アジア太平洋ユネスコ協会クラブ連盟、日本ユネスコ協会連盟  
国際識字年（1990年）を記念し、相互の文化や生活に触れ、理解を深めることを目的に開催。第10回フェスタ（2010～2011年）では、アジア24の国・地域の子どもたちから作品を募集した。

### ④ UNESCOとの連携

- A) ボコバ UNESCO 事務局長からの協力依頼に応え、UNESCO ハイチ教育支援キャンペーンを実施して募金活動を行った。
- B) UNESCO 芸術賞の管理運営と新しい枠組みについて UNESCO 本部と協議を継続した。
- C) ユネスコ国内委員会の協力依頼に応じ、UNESCO が主催する東アジア子ども芸術祭（2010年7月25～30日、マカオ）に、プロジェクト未来遺産登録団体である沖縄の阿麻和利浪漫の会の子どもたちを派遣した。

## 2. ユネスコ世界寺子屋運動

1989年に“すべての人に教育を（EFA）”の目標を掲げ、支援を開始した「ユネスコ世界寺子屋運動」は、支援先での評価も高まり、アフガニスタン、カンボジア、ネパール、ラオスにおいては、各国政府教育省でも寺子屋（Community Learning Center：CLC）の持つ潜在的な可能性に着目し、推進していこうという姿勢を明確に打ち出すようになった。

世界寺子屋運動20周年関連事業での各種提言および総括を踏まえ、2010年度は、運動の内容を整理し、海外活動については、現地事務所を有するアフガニスタンとカンボジアを中心に据えながら、2008年から支援を開始したラオス、政府がCLCの充実に本腰を入れ始めたネパールで更なる充実と今後に向けた支援活動を行った。インドについては、2012年7月の支援終了に向けた最終段階の活動の充実をはかった。各国において、それぞれのニーズに基づいて新たに取り組んだ。例えばアフガニスタンにおいてはCLC初の女性平和集会の実施やカンボジアにおける米（こめ）銀行の設置が行われた。また「ユネスコ世界寺子屋運動20周年記念『寺子屋がくれた未来』」を発行し配布し、プロジェクトの中間評価報告書をWEB上でアップした。

世界寺子屋運動広報特使「まなびゲーター」に就任した久保純子さんは2009年のカンボジア訪問に続き、2011年3月にはネパールを訪問し、寺子屋での学びが、女性たちにどのような変化をもたらしたのか等について知っていただく機会を得た。

「一杯のスプーン」による医薬品・食糧品支援は、世界寺子屋運動の実施地域であるアフガニスタンとネパールにおいて、無料診療所への支援を継続した。

### (1) 世界寺子屋支援活動（通年）

#### ① カンボジア（アンコール寺子屋プロジェクト）

日ユ協連シェムリアップ事務所を拠点とし、シェムリアップ州内に7軒目となる寺子屋を設立し、研修を通じて運営委員会メンバーの能力強化を図った。CLCでは就学前児童を対象にした幼稚園、成人を対象とした識字教育、技術訓練及び収入向上プログラムを実施した。また、州教育局の協力を得て、民家などを活用した21の識字教室を展開し、CLC周辺地域の識字率向上に貢献した。

#### ② アフガニスタン（アフガニスタン寺子屋プロジェクト）

日ユ協連カブール事務所を拠点とし、アフガニスタン教育省識字局等の協力を得て、カブール県内に13軒目となる寺子屋を設立した。また、カブール県、パルワン県及びバーミヤン県の既存の寺子屋において、識字教育・技術訓練を実施し、収入向上に寄与するとともに、寺子屋運営に関する技術的サポートも行った。カブール市第12地区の寺子屋では、女性教員ら100名が「平和集会」を実施。家庭や地域レベルで、女性たちが平和の重要性を発信していく役割を担おうと決意表明をした。

#### ③ ネパール（ルンビニ寺子屋プロジェクト）

世界遺産の地ルンビニ周辺12地域およびカトマンズ近郊の4地域の寺子屋で識字教育および収入向上事業を実施した。ネパール政府のノンフォーマル教育政策に協力し、政府による寺子屋運営への技術協力や政府が行なう「全国識字キャンペーン」にたいして識字ボランティア研修などを実施することで後押しをした。



#### ④ インド（ゴカック寺子屋プロジェクト）

2012年7月のプロジェクト終了までに、既存45の寺子屋が財政的にも運営的にも自立できることを目指し、村のリーダーたちへの研修活動に重点をおき、各寺子屋が村人への募金活動に尽力している。寺子屋運営委員によって形成される寺子屋運営委員連合が形成され、この連合が45村の利益を代表し、行政や企業にたいして寺子屋支援の呼びかけを開始した。

#### ⑤ ラオス（ルアンパバン寺子屋プロジェクト）

ラオス国内でも最貧困地域であるルアンパバン県の山岳地域を中心とした最貧村12村でモデル寺子屋の構築を目指し、人材育成のための研修をはじめ、識字教育、小口融資、さまざまな収入向上プログラムを行った。

#### ⑥ 世界寺子屋運動20周年記念誌の発行と中間評価報告書作成

「ユネスコ世界寺子屋運動20周年記念『寺子屋がくれた未来』」を発行した。またプロジェクトの中間評価報告書アフガニスタン、インド、ネパールをWEB上で順次アップした。

### (2) 「一杯のスプーン」支援活動（通年）

発展途上国の貧困や飢餓、教育などの課題に、現地と日本の市民とが「共に協力して」取り組む事業。アフガニスタンのカブール市内JIFF病院への医療支援、及びネパールのルンビニ寺子屋プロジェクトの対象地域で巡回医療支援・栄養補助食品配布を実施した。

### 3. 世界遺産・地域遺産活動

世界遺産条約と無形文化遺産条約の趣旨に照らし、遺産それぞれに関する啓発・保護・継承のための活動を推進し、(財)日本宝くじ協会の支援を得て、「世界遺産年報」を継続刊行した。

アジアの世界遺産の保護・保全を目的として、フィリピン、カンボジア等で初等教育への文化遺産に関わる授業導入等を含めた遺産保全活動を実施した。またカンボジアに関しては政府開発援助を得て、「塗り絵教材」の改訂版を7万5千部制作した。

今後の世界遺産活動の主旨をPRすることを目的に、日本ユネスコ協会連盟世界遺産活動特別大使“犬”(ワンバサダー)として『わさお』を任命した。

100年後の子どもたちに日本の有形・無形の文化遺産、自然遺産を伝える「未来遺産運動」を地域ユ協と連携をはかりながら、更に活動を広げるとともに、啓発・保全運動に積極的に取り組んだ。

#### (1) 世界遺産年報の発行・配布

世界遺産の最新情報を盛り込んだ「世界遺産年報 2011 No. 16」を財団法人日本宝くじ協会の助成を得て発行し、国公立図書館、大学附属図書館、教育委員会等へ寄贈した。

#### (2) 世界遺産支援活動 (通年)

##### ① フィリピン(イフガオの棚田文化継承プロジェクト)

イフガオ州の世界遺産「フィリピン・コリディリェーラの棚田群」で棚田を保存するための伝統的知識を次世代の若者に引き継ぐことを目的とした事業を継続して実施した。公教育において若い世代が伝統的な知識を学ぶ仕組みを確立するために小学校・中学校・大学の教員課程用のカリキュラム開発を実施した。

##### ② カンボジア(世界遺産アンコール教育教材開発プロジェクト)

世界遺産「アンコール」で行う文化教育プロジェクト。3年目となる今年度は文部科学省より政府開発援助ユネスコ活動費補助金も得て実施した。アプサラ機構、教育局と共催で、小学校高学年向けにアンコール遺跡をモチーフとした教育教材を7万5千部制作した。今後州内の小学校に無料配布し、教員向けの教授法ワークショップや子どもを対象とした世界遺産スタディツアーなどを実施する予定となっている。

##### ③ アフガニスタン(バーミヤン遺跡文化プロジェクト)

世界遺産「バーミヤン渓谷の文化的景観と古代遺跡群」の周辺地に建設された、バーミヤン教育文化センターは2005年に情報文化省に引渡し済みであるが、リノベーションのための調査を行い、メンテナンスのための予算確保をアフガン情報文化省に要請した。また越冬のための屋根部分の小規模修復を行った。

##### ④ 植樹プロジェクト(青森県)

青森県、西目屋村、(株)レインボー・ジャパン、日ユ協連の四者協定に基づく5ヵ年事業の初年度として、世界遺産白神山地の玄関口である西目屋村にて約7千本の植樹を行った。

### (3) 未来遺産運動 (通年)

地域の文化・自然遺産を未来へ伝えるために、①地域の文化・自然遺産を守る市民活動を応援する「プロジェクト未来遺産」、②次世代継承者を育成する「私のまちのたからものコンテスト」を実施した。また、従来の応援金に加え、本年度からWEBサイトから一般の方々が投票し、その投票結果を勘案して応援金を分配するシステムを導入した。2011年3月21日に予定された第2回未来遺産運動記念式典は東日本大震災のため中止した。なお、特別協力企業として東日本旅客鉄道株式会社、レクサス、日清紡ホールディングス株式会社、また事業協力としてあいおいニッセイ同和損害保険株式会社より協力を得た。

#### ① プロジェクト未来遺産

公 募：2010年4月1日～6月30日。25都道府県から39プロジェクトの応募受付。プロジェクト未来遺産選考のために西村幸夫東京大学教授を委員長とする未来遺産委員会を設置。

事前選考：未来遺産委員会の各分野の専門家によるワーキング・グループを結成、7月12日評価項目や選考方法を決定、7月29日書類選考実施。

調 査：書類選考後、10月～11月初旬ワーキング・グループメンバーを中心に現地調査、未来遺産委員会提出用の調査報告書を作成。

委員会：11月9日未来遺産委員会を開催し、2010年度第2回「プロジェクト未来遺産」10団体の選考、登録決定。

登録「プロジェクト未来遺産2010」10件 ※プロジェクト名/団体名

1. 野生サケのふるさとウヨロ川保全調査・普及プロジェクト（北海道）/NPO法人ウヨロ環境トラスト
2. ★未来人（みらいびと）への贈り物★宗谷防人物語（そうやさきもりものがたり）（北海道）/稚内市歴史・まち研究会
3. 知床のヒグマなど、人間と野生動物とが共生していく大切さを全国に届けよう（北海道）/財団法人知床財団
4. 水と林と田んぼのハーモニー里山がくれた生き物と歴史の玉手箱 宍塚の自然と文化を次世代に（茨城県）/特定非営利活動法人宍塚の自然と歴史の会
5. 「谷中のたから」体験・発見・交流プロジェクト（東京都）/特定非営利活動法人たいとう歴史都市研究会
6. 木曾丸ごと夢作り活動（長野県）/NPO法人木曾ユネスコ協会
7. 生態系豊かな森の再生と豊かな森が持つ可能性の追求（長野県）/財団法人C.W.ニコール・アフアの森財団
8. 赤瓦と煙出しの里 加賀ひがしたにの未来プロジェクト（石川県）/山中温泉ひがしたに地区保存会
9. みんなでかぶこう!!プロジェクト～農村歌舞伎祇園座（香川県）/香川町農村歌舞伎保存会
10. 阿蘇千年の草原を未来へ引き継ごう（熊本県）/財団法人阿蘇グリーンストック

## ② 私のまちのたからものコンテスト（スライドショー）

学校教育におけるユネスコ活動の振興を目的に、ユネスコ学校プロジェクトとして実施した。

募集期間：2010年4月1日～12月10日 応募数：52作品

受賞作品：

「日本ユネスコ協会連盟賞」（最優秀賞）：岡山県立矢掛高等学校『大名行列』

「D-project賞」（優秀賞）：富山県富山市立中央小学校『安全・安心なおいしいお米』

「あいおいニッセイ同和損害保険株式会社賞」（優秀賞）：沖縄県北谷町立北谷中学校『自ら守るウチナーの海』

## ③ 未来遺産募金

募金システムを多様化し、未来遺産運動の事業資金の拡大をめざした。

A) 第23回東京映画祭（2010年10月23～31日開催）会場内に未来遺産運動のポスターを展示。募金活動を行った。

B) ラリーニッポンTOKYO-KYOTO 2010（2010年11月5～7日）に連携し、未来遺産の広報を行った。

C) じぶん銀行に口座を持つユーザーから携帯サイトを使っての募金が可能になった。

D) 大林組の工事現場に設置された自動販売機の売り上げの一部が募金された。

E) WEB年賀状で寄付金付き年賀状を販売。売り上げの一部が募金された。

## 4. 事業資金の拡大・充実

事業資金の各愛による民間ユネスコ運動の発展を目指して、月1・いいことプログラム、書きそんじハガキの回収、コンビニ&ATM募金等の募金活動を展開した他、企業とのタイアップ事業の構築を行った。

### (1) 財務の強化

#### ① 募金総額の増加

民間ユネスコ運動を発展させていくために、月1いいことプログラムへの参加呼びかけを行った。また書きそんじハガキの回収活動をあらゆる機会に強調し、募金の拡大に努めた。

#### ② 維持会員、個人会員及び協賛会員の増加

維持会員、個人会員の勧誘を行った。

### (2) 企業とのタイアップ（協力）事業の推進

企業とのタイアップは、社会貢献事業の実施と財源の確保を同時に実現できる有力な方式である。メガネの田中チェーン株式会社などの小売企業から、株式会社シブヤテレビジョン、株式会社ケーブルテレビ富山など新規協力企業を開拓。また、関係企業に積極的に働きかけを行うとともに、企業がユネスコ運動をより良く理解し協力しやすいよう印刷物やホームページの改訂等を開始した。また、タイアップ事業を行う企業へは維持会員として入会するよう勧めた。

## Ⅱ 組織

### 1. 理事（24）（五十音順）

会 長	松田 昌士（東日本旅客鉄道㈱相談役）	非常勤	<維持>
副 会 長	加藤 玲子（特定非営利活動法人目黒ユネスコ協会会長）	非常勤	<会委>
	石井 清（柏ユネスコ協会会長）	非常勤	<構成>
理 事 長	野口 昇（文京学院大学副学長・教授）	非常勤	<個人>
理 事	秋田 実（三菱商事㈱総務部環境・CSR推進室長）	非常勤	<維持>
	安藤 厚（岩手県ユネスコ協会会長）	非常勤	<構成>
	今井琉璃男（松山ユネスコ協会会長）	非常勤	<構成>
	内田 眞朗（日本ユネスコ協会連盟事務局長）	常勤	<個人>
	大田 弘子（政策研究大学院大学副学長）	非常勤	<会委>
	久保田 穰（神奈川県ユネスコ連絡協議会会長）	非常勤	<構成>
	桑原 昭二（姫路ユネスコ協会会長）	非常勤	<構成>
	小出 寛治（NTTファイブス㈱取締役相談役）	非常勤	<会委>
	杉田 辰彦（熊本ユネスコ協会副会長）	非常勤	<構成>
	田川 清（(医)幸医会理事長、名古屋ユネスコ協会会長）	非常勤	<構成>
	千葉 晃弘（国際基督教大学教育研究所顧問）	非常勤	<個人>
	西村 幸夫（東京大学教授）	非常勤	<個人>
	二瓶 和敏（二瓶総合法律事務所、弁護士）	非常勤	<個人>
	野田 智義（特定非営利活動法人アイ・エス・エル理事長）	非常勤	<会委>
	林 美紀子（杉並ユネスコ協会顧問）	非常勤	<構成>
	樋口 達夫（大塚ホールディングス㈱代表取締役社長兼CEO）	非常勤	<会委>
	古川 綾子（山口ユネスコ協会会長）	非常勤	<構成>
	盛 和春（㈱電通プロジェクト・プロデュース局シニア・プロデューサー）	非常勤	<維持>
	山田 家正（北海道ユネスコ連絡協議会）	非常勤	<構成>
	米田 伸次（帝塚山学院大学国際理解研究所顧問）	非常勤	<賛助>

（注1）<構成>：構成団体会員代表、<賛助>：賛助団体会員代表、<個人>：個人会員代表、  
<維持>：維持会員代表、<会委>：会長委嘱

### 2. 監事（3）

大瀧 太市（朝日実業㈱元社長）	非常勤
鈴木 幹夫（日本放送協会元理事）	非常勤
松代 隆子（財団法人吉田秀雄記念事業財団常務理事）	非常勤

### 3. 顧問（9）

糟谷 勝一	児島 仁	堤 清二	濱中昭一郎	福原 義春
松浦晃一郎	村井 了	村田 昌志	E. H. Rose	

#### 4. 評議員数

会員種別	20010年度末	定員
構成団体会員	89	90以内
賛助団体会員	4	10以内
		(但し会員総数：23の「3分の1以内」のため実数は7以内)
個人会員	30	40以内
維持会員	15	30以内
計	138	150以内

#### 5. 会員数

会員種別	2009年度末	減	増	2010年度末
構成団体会員	273	3	3	273
賛助団体会員	16	0	0	16
個人・終身個人会員	317	36	6	287
維持会員	173	19	18	172
計	779	58	27	748

※ 休会会員を除く。

#### 6. 会員の異動

##### 構成団体会員

###### <入会>

武蔵野ユネスコ協会(東京都)、堺ユネスコ協会(大阪府)

2011年1月22日第474回理事会承認

諏訪ユネスコ協会(長野県)

2011年3月28日第475回理事会承認

###### <退会>

花泉ユネスコ協会(岩手県)

2010年5月8日第468回理事会承認

霞ユネスコ研究会(神奈川県)

2010年11月12日第473回理事会承認

###### <休会>

富山県青年ユネスコ連絡協議会(富山県)

2010年5月8日第468回理事会承認

##### 維持会員

###### <入会>

株式会社 NTT ファシリティーズ、エヌ・ティ・ティ都市開発株式会社、株式会社ニューバ  
 ッズ、株式会社フジテレビジョン、大明株式会社、日本コムシス株式会社、大和ハウス工  
 業株式会社東京支社、三井住友カード株式会社

2010年5月8日第468回理事会承認

株式会社オーシーエス、株式会社DTS

2010年6月5日第470回理事会承認

メガネの田中チェーン株式会社、株式会社ア・マールタマール、カルビー株式会社、

NTTファイナンス株式会社、大阪ガス株式会社

2010年9月11日第471回理事会承認

トリップアドバイザー株式会社、株式会社コスモ 2010年11月12日第473回理事会承認  
地球コーポレーション株式会社 2011年3月28日第475回理事会承認

<退会>

小田急バス株式会社、株式会社グッドバンカー 2010年5月8日第468回理事会承認  
株式会社アトリエ出版企画、有限会社エイコーン 2010年6月5日第470回理事会承認  
凸版印刷株式会社、ニフティ株式会社、株式会社日経ナショナルジオグラフィック、  
ラサ工業株式会社、株式会社富士通アドバンストエンジニアリング、株式会社文芸春秋、  
富士古河E&C株式会社 2010年9月11日第471回理事会承認  
株式会社JTB 法人東京、株式会社日宣、デザインワークス有限会社、JX日鉱日石エネルギー株式会社  
2011年1月22日第474回理事会承認  
ケイヒン株式会社、社団法人日本ジュエリー協会、財団法人小田急電鉄事業団、ケイ・ア  
ンド・エス(株) 2011年3月28日第475回理事会承認

終身個人会員

<物故>

中村 徹雄 2010年11月12日第473回理事会承認  
橋本 英夫 2011年1月22日第474回理事会承認

個人会員

<入会>

矢島 祭太郎、高井 伸夫、高橋 英子 2010年6月5日第470回理事会承認  
高見 裕一 2010年9月11日第471回理事会承認  
渡辺 良行、多田 孝志 2011年1月22日第474回理事会承認

<退会>

小島 瑞子、船曳 甫、大澤 詮、水島 恭愛、吉田 晴彦、フランソワーズ モレシヤン、  
寺島 隆吉、菊田 陽子 2010年5月8日第468回理事会承認  
山村 万里子、平野 健一郎、藤森 照信 2010年6月5日第470回理事会承認  
後藤 千恵子、古田 真美、小倉 浩司 2010年9月11日第471回理事会承認  
藤田 秀雄、仙波 志郎、弓場 昌子、益田 晴代 2011年1月22日第474回理事会承認  
足立原 貫、今川 敏彦、大口 道雄、加藤 公博、野中 章弘、長谷川 ヒロ子、原 眞  
理子、光永 研一、峰晴 旦行、宮崎 仁、米本 憲司  
2011年3月28日第475回理事会承認

<物故>

奥田 真丈 2010年6月5日第470回理事会承認  
曾我 貞子 2010年11月12日第473回理事会承認  
石井 好子、井高 帰山、中野 スミ子 2011年3月28日第475回理事会承認

賛助団体会員

なし

**7. 地域的なユネスコ活動の領域を代表する日本ユネスコ国内委員会委員(日本ユネスコ協会連盟関係)** (2011年3月31日現在)

北海道	秋庭 一憲 (北海道ユネスコ連絡協議会事務局長)
東北	菅原 展子 (秋田ユネスコ協会会長)
関東・甲信越	吉崎 晴子 (千葉県ユネスコ協会連絡協議会理事、市川市ユネスコ協会副会長) 森井 曠雄 (鎌倉ユネスコ協会理事)
中部	小竹三恵子 (ふくいユネスコ協会副会長)
近畿	大音 裕子 (川西ユネスコ協会会長)
中国	内藤 淳彦 (石見地区ユネスコ協会会長)
四国	笹川 重幸 (香川県ユネスコ連絡協議会会長、高松ユネスコ協会会長)
九州	武藤 博丈 (長崎ユネスコ協会会長)
全国的連合組織	榎田 好一 (広島県教育委員会教育長)
全国的連合組織	西村 幸夫 (日本ユネスコ協会連盟理事、東京大学教授)
全国的連合組織	二瓶 和敏 (日本ユネスコ協会連盟理事、弁護士)



## Ⅲ 会 議

### 1. 総会

#### 第61回通常総会

日 時 2010年6月5日(土) 14:30～16:30

場 所 東京都・大手町サンスカイルーム(A会議室)

議 長 会長 松田 昌士

出席者 構成団体会員 64名

維持会員 4名

個人会員 39名

賛助団体会員 1名

出席者計 108名

委任状 267名

- 議 題
1. 2009年度事業報告書(案)
  2. 2009年度収支計算書及び財務諸表(案)
  3. 2010年度事業計画書(案)・収支予算書(案)
  4. 「定款及び諸規程」の修正(案)及び総会運営規程(案)
    - (1) 「定款及び諸規程」の修正(案)及び総会運営規程(案)
    - (2) 定款の修正(案)
    - (3) 新定款の会員種別(案)
    - (4) 会員に関する規程の修正(案)
    - (5) 役員・評議員選任に関する規程の修正(案)
    - (6) 役員・評議員選任に関する流れ(案)、予備推薦委員会及び選考委員会の委嘱の流れ(案)
    - (7) 総会運営規程(案)
  5. 会員提出議案について
  6. その他

#### 臨時総会

日 時 2011年1月22日(土) 16:30～17:15

場 所 東京都・大手町サンスカイルーム(A会議室)

議 長 会長 松田 昌士

出席者 構成団体会員 72名

維持会員 5名

個人会員 41名

賛助団体会員 2名

出席者計 120名

委任状 417通

- 議 題
1. 公益社団法人認可申請に伴う定款及び諸規程の一部修正について

## 2. 評議員会

### 第21回評議員会

日 時 2010年5月8日(土) 13:15~15:30  
場 所 東京都・大手町サンスカイルーム(A会議室)  
議 長 会長 松田 昌士  
出席者 構成団体会員 49名  
維持会員 3名  
個人会員 17名  
賛助団体会員 3名  
出席者計 72名  
委任状 42通

- 議 題
1. 第20回評議員会議事要録の承認
  2. 2009年度事業報告(案)
  3. 2009年度収支計算書(案)
  4. 2010年度事業計画書・収支予算書(案)
  5. 公益社団法人認可申請の進捗状況
  6. ハイチ地震に関するユネスコの教育支援
  7. 世界寺子屋運動検討会議の報告及び今後の進め方
  8. 第1回未来遺産運動記念式典の報告及び今後の展開
  9. その他

### 第22回評議員会

日 時 2010年9月11日(土) 13:15~15:30  
場 所 東京都・大手町サンスカイルーム(A会議室)  
議 長 会長 松田 昌士  
出席者 構成団体会員 48名  
維持会員 2名  
個人会員 15名  
賛助団体会員 3名  
出席者計 68名  
委任状 43通

- 議 題
1. 第21回評議員会議事要録の承認
  2. 2010年度上半期主要事業報告
  3. 公益社団法人認定申請の進捗状況について
  4. その他

### 第23回評議員会

日 時 2011年1月22日(土) 14:45~16:15  
場 所 東京都・大手町サンスカイルーム(A会議室)  
議 長 会長 松田 昌士  
出席者 構成団体会員 51名  
維持会員 4名  
個人会員 18名

賛助団体会員 2名  
出席者計 75名  
委任状 41通

- 議 題 1. 第22回評議員会議事要録の承認  
2. 2010年10月から12月までの事業報告及び今後の主要事業（案）  
3. その他

### 3. 理事会

#### 第468回理事会

日 時 20010年5月8日（土）15：45～17：00

場 所 東京都・大手町サンスカイルーム（B会議室）

議 長 会長 松田 昌士

出席者 17名

委任状 5通

- 議 題 I. 第 467 回理事会議事要録の報告  
II. 協議事項  
1. 会長委嘱理事の選任  
2. 会員の入退会  
3～5. 2009 年度事業報告書(案)、2009 年度収支計算書(案)、20010 年度事業  
計画・収支予算書（案）  
6. 公益社団法人認可申請の進捗状況  
7. ハイチ地震に関するユネスコの教育支援  
8. 世界寺子屋運動検討会議の報告及び今後の進め方  
9. 第 1 回未来遺産運動記念式典の報告及び今後の展開  
10. その他  
III. 報告事項  
1. 後援・共催事業  
2. その他

#### 第469回持ち回り理事会

日 時 20010 年 5 月 28 日（金）

議 長 会長 松田 昌士

出席者 17名

- 議 題 I. 協議事項  
1. 定款・諸規程の修正及び総会運営規程

#### 第470回理事会

日 時 2010年6月5日（土）13：15～14：00

場 所 東京都・大手町サンスカイルーム（D会議室）

議 長 会長 松田 昌士

出席者 17名

委任状 7通

- 議 題 I. 第 468 回理事会議事要録の報告

## II. 協議事項

1. 会員の入退会
2. 2009年度事業報告書（案）
3. 2009年度収支計算書及び財務諸表（案）
4. 2010年度事業計画書・収支予算書（案）
5. 世界遺産年報監修委員会
6. 会員提出議案
7. その他

## III. 報告事項

1. 後援・共催事業
2. 「定款及び諸規程」の修正（案）及び総会運営規程（案）
3. その他

### 第471回理事会

日 時 2010年9月11日（土）15：45～17：00

場 所 東京都・大手町サンスカイルーム（B会議室）

議 長 会長 松田 昌士

出席者 15名

委任状 4通

議 題 I. 第470回理事会議事要録の承認

#### II. 協議事項

1. 会員の入退会
2. 全国的青年組織の規約について
3. 2010年度上半期主要事業報告
4. その他
  - (1) 公益社団法人認定申請の進捗状況について
  - (2) その他

#### III. 報告事項

1. 後援・共催事業
2. その他

### 第472回持ち回り理事会

日 時 2010年9月20日（月）

議 長 会長 松田 昌士

出席者 22名

議 題 I. 「核のない世界に向けての宣言（案）」の承認

### 第473回理事会

日 時 2010年11月12日（金）15：00～17：00

場 所 東京都・大手町サンスカイルーム（B会議室）

議 長 会長 松田 昌士

出席者 16名

委任状 7通

- 議 題 I. 第 471 回理事会議事要録の承認  
第 472 回持ち回り理事会議事要録の承認
- II. 協議事項
1. 会員の入退会
  2. 内閣府からの指摘に基づく「定款」等修正の主なポイントについて（案）
    - (1) 公益社団法人認定申請に伴う今後のスケジュールについて（案）
    - (2) 定款及び諸規程の改正について（案）
      - ・定款（案）
      - ・役員選任に関する規程（案）
      - ・評議員選任に関する規程（案）
      - ・役員報酬規程（案）
      - ・会員に関する規程（案）
    - (3) 臨時総会の開催について（案）
  3. その他
- III. 報告事項
1. 後援・共催事業
  2. 2010 年度上半期決算報告
  3. その他
    - (1) 2010 年度プロジェクト未来遺産の経過について
    - (2) イリーナ・ボコバ UNESCO 事務局長来日にかかわる予定
    - (3) 核兵器のない世界に向けての宣言

#### 第474回理事会

日 時 2011年1月22日（土）13：15～14：30  
場 所 東京都・大手町サンスカイルーム（B会議室）  
議 長 会長 松田 昌士  
出席者 19名  
委任状 3通  
議 題 I. 第 473 回理事会議事要録の承認

- II. 協議事項
1. 会員の入退会
  2. 公益社団法人認可申請に伴う定款及び諸規程（案）の一部修正について
  3. 定款（案）
  4. 会員に関する規程（案）
  5. 役員報酬規程（案）
  6. 2011 年度事業計画及び収支予算書（案）
  7. その他
- III. 報告事項
1. 後援・共催事業
  2. ユネスコ活動助成金
  3. その他

## 第475回持ち回り理事会

日 時 2011年3月28日（月）

議 長 会長 松田 昌士

出席者 18名

議 題 I. 第 474 回理事会議事要録の承認

II. 協議事項

1. 会員の入退会
2. 2011 年度事業計画書（案）収支予算書（案）について
3. 役員及び評議員選任に関する規程の修正について
4. 2011-2012 年予備推薦管理委員会の委員の推薦について

## 4 各種委員会等 (役職は就任当時。委員は五十音順)

### ① 組織活動委員会

- 委嘱事項 会員資格の基準、会員の入退会などの審議及び、民間ユネスコ運動の充実、発展を目指し、組織課題を解決し、組織強化を図る。
- 委員長 加藤 玲子 (日ユ協連副会長、目黒ユネスコ協会会長)
- 副委員長 石井 清 (日ユ協連副会長、柏ユネスコ協会会長)
- 委員 林 美紀子 (日ユ協連理事、杉並ユネスコ協会会長)  
米田 伸次 (日ユ協連理事、帝塚山学院大学国際理解研究所顧問)  
二瓶 和敏 (日ユ協連理事、二瓶総合法律事務所弁護士)  
内田 眞朗 (日ユ協連理事・事務局長)  
松浦 慎 (青年ユネスコ共同体暫定執行部会長、奈良ユネスコ協会)
- 開催日 (1) 2010年5月8日  
(2) 2010年6月5日  
(3) 2010年9月11日  
(4) 2010年11月12日  
(5) 2011年1月22日

### ② 青年部会

- 委嘱事項 全国的な青年連絡組織立ち上げの検討と、幅広い青年層の参加を促す青年運動振興案の検討
- 部会長 (近 畿) 松浦 慎 青年ユネスコ共同体暫定執行部会長、奈良ユネスコ協会  
(北海道) 今井智美 石狩ユネスコ協会、推進員  
(東 北) 欠員  
(関 東) 手島敬 東京みどりの会  
清水麻生 渋谷ユネスコ協会  
小暮久美子 渋谷ユネスコ協会  
小暮強志 渋谷ユネスコ協会  
鈴木貫太郎 市川市ユネスコ協会  
高橋重雄 杉並ユネスコ協会  
竹腰紀男 柏ユネスコ協会、推進員  
(中部東) 井上美恵子 厚木ユネスコ協会  
鎌倉真音 鎌倉ユネスコ協会  
(中部西) 小崎好美 名古屋ユネスコ協会  
(近 畿) 吉川奈都子 奈良ユネスコ協会  
(四 国) 欠員  
(中 国) 小竹祐加 岡山ユネスコ協会  
(九 州) 佐藤隆士 大分県ユネスコ協会連盟
- 開催日 (1) 2010年6月6日  
(2) 2010年9月12日  
(3) 2010年12月5日  
(4) 2011年1月15日

③ ユネスコスクール部会

- 委嘱事項 学校教育におけるユネスコ活動の振興案の検討  
部会長 米田伸次 (日ユ協連盟理事、帝塚山学院大学国際理解研究所顧問)  
メンバー 有里泰徳 (宮崎県立都城泉ヶ丘高等学校教諭)  
田淵五十生 (奈良教育大学教授)  
見上一幸 (宮城教育大学副学長)  
水谷浩三 (暁学園暁小学校教頭)  
米田謙三 (羽衣学園高等学校教諭)
- 開催日 (1) 2010年5月23日  
(2) 2010年7月24日

④ 「世界遺産年報」監修委員会

- 委嘱事項 「世界遺産年報」出版に関わる専門的立場からの監修、助言  
委員長 西村幸夫 (日ユ協連理事、東京大学教授)  
委員 稲葉信子 (筑波大学大学院人間総合学科学研究科教授)  
岡田保良 (国士舘大学教授・工学博士、イラク古代文化研究所・大学院グローバルアジア研究科/ICOMOS国際記念物遺跡会議執行委員)  
工藤父母道 (プロジェクト“ワールド・ヘリテッジ”総括)  
矢野和之 (株式会社文化財保存計画協会代表取締役)  
米田久美子 (財団法人自然環境研究センター研究主幹)  
鈴木幹夫 (日ユ協連監事)
- 開催日 2010年8月31日

⑤ 地域ユネスコ活動助成審査会

- 委嘱事項 地域ユネスコ活動助成の申請事業について、申請書類をもとに助成交付の可否及び助成交付金額の決定  
委員 野口昇 (日ユ協連理事長)  
加藤玲子 (日ユ協連理事、目黒ユネスコ協会会長)  
小出寛治 (日ユ協連理事、NTTファイナンス㈱取締役相談役)  
盛和春 (日ユ協連理事、㈱電通プロジェクト・プロデュース局シニア・プロデューサー)
- 開催日 2010年4月19日



## ⑥ 未来遺産委員会

委嘱事項 「プロジェクト未来遺産」の選考、調査協力、広報協力

委員長 西村 幸夫（日ユ協連理事、東京大学教授）

委員 秋田 実（三菱商事㈱環境・CSR推進室室長）

秋道 智彌（総合地球環境学研究所副所長・教授）

アレックス カー（東洋文化研究者）

あん まくどなど

（国連大学高等研究所いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニット所長）

池坊 美佳（華道家）

内田 眞朗（日ユ協連理事・事務局長）

隈 研吾（建築家、東京大学教授）

古谷 堯彦（大分合同新聞社常務取締役）

佐野 賢治（神奈川大学日本常民文化研究所所長）

七野 俊彦（トヨタ自動車㈱レクサス国内営業部部長）

銭谷 眞美（東京国立博物館館長）

高階 秀爾（財団法人西洋美術振興財団理事長）

知花 くらら（モデル・リポーター）

土屋 誠（琉球大学理学部海洋自然化学科教授）

東儀 秀樹（雅楽師）

永野 浩介（日本電信電話㈱総務部門部長）

西山 厚（奈良国立博物館学芸部長）

西山 徳明（北海道大学観光学高等研究センター教授）

萩本 欽一（タレント）

朴 恵淑（三重大学人文学部教授）

福原 義春（社団法人企業メセナ協議会会長）

前田 耕作（アフガニスタン文化研究所所長）

黛 まどか（俳人）

見並 陽一（東日本旅客鉄道㈱常務取締役）

宮廻 正明（東京藝術大学大学院美術研究科教授）

宮田 繁幸（東京文化財研究所無形文化遺産部部長）

毛利 和雄（日本放送協会NHK解説委員室解説委員）

矢野 和之（日本イコモス国内委員会事務局長）

鷺谷 いづみ（東京大学大学院農学生命科学研究科教授）

開催日 2010年11月9日